

## 事業所向け 放課後等デイサービス評価表

公表：令和6年3月31日

事業所名：うんどう広場Tomorrow

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。		○		利用者の増加に伴い、複数の児童の療育時間が重なることも増えています。屋外と室内で分けるなど、お子さん一人ひとりの活動スペースを確保できるよう、工夫しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	○			有資格者（保健体育教員免許・保育士免許等）に加え、現役スポーツ選手等、運動に特化した職員で対応しています。
	③	事業所の空間は、子ども等に分かりやすい環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、配慮が適切になされているか。	○			建物の構造上難しい部分もありますが、お子さんにも分かりやすいような掲示物等を活用しています。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			法人の代表理事や児童発達支援管理責任者を中心に事業所の運営・業務について、話し合う時間を設けています。また、代表理事との個人面談で各職員からの意見も取り入れています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			日頃の相互連絡や保護者評価を活用して、保護者の意向の把握に努め、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を事業所のホームページ等で公開しているか。	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価は行っていません。 必要に応じて、第三者による外部評価の実施も検討したいと思えます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。		○		オンライン研修等を活用して、研修の機会の確保に努めています。
適切 な 支 援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○			見学や体験、契約の際に統一したアセスメントシートを活用して個別支援計画を作成しています。 必要に応じて、お子さんがこども家庭センターや医療機関で受けられた発達検査等の結果を見せていただき、発達状況の把握もしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○			
	⑪	活動プログラムの計画等を広く職員が参画して、行っているか。	○			個別支援計画を基に、各職員の視点でお子さんの行動や心理を考え、目標や支援方法、活動内容等の検討を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	○			個別支援計画の目標や支援方法、当日のお子さんの状態を考慮して、活動内容を柔軟に変更する等対応しています。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と少人数活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか。	○			アセスメントやモニタリングを通じて、お子さんの状況を把握し、状況に応じて個別支援計画を作成しています。
	⑭	支援開始前には職員間で打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について、確認しているか。	○			お子さんの状態や活動内容によって、どの職員が一緒に活動することがよいか適宜確認しています。

の 提 供	⑮	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		活動後、気になる行動等があった場合、職員間で共有するようにしています。また、活動記録にそのときの様子等を残し、振り返ることができるようにしています。
	⑯	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		統一した記録様式において、記録を残すようにしています。
	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		概ね6カ月に1度モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。
	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		遊びを通して、運動への意識づけを行い、職員は積極的に「ほめる」ことでお子さんが少しずつ自信を持てるようスモールステップで成功体験を積んでいます。また、制御運動として創作活動やパズル等も取り入れ、自由に表現する喜びや楽しさを体験できるようにしています。活動の中で自己選択できるような場面も作りながら、支援
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に適任者が出席しています。
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		主に保護者を通して情報を得ています。学校主催の移行支援会議等が開催される場合、出席することもあります。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。		○	当事業所では、医療的ケア児の受け入れは行っていません。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、情報共有を行っています。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか。	○		学校が主催する移行支援会議等を通して、支援内容等の提供を行っています。また、要望があった場合は適切な書類を提供する体制はあります。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。		○	オンライン研修等は受けられる体制はありますが、現状最低限の職員配置のため、なかなか受けることができていません。児童発達支援センター等が発行しているリーフレット等を活用して、内容を職員に共有したりしています。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか。		○	休日は地域の公園での活動等を実施しているため、園内で知り合った子どもたちと交流するときはあります。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	これまで参加したことはあるが、利用者の増加に伴い、現在はなかなか参加できていない。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINE公式アカウントを活用して、当日中に写真や動画を含めて、報告の連絡をしています。保護者からもLINEを通じて、お子さんの状態等を伝えられることもあります。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングの実施はしていないが、日頃の連絡やあすの会（保護者会）を通じて、必要に応じて助言等を行っています。

保護者への説明責任等	②9	運営規程、支援の内容、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか。	○		主に契約やモニタリングの際に説明を行っています。また、分からないことがあった場合は随時説明をしています。
	③0	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		個別に相談日を設け、相談に応じています。令和5年度は1名の保護者の方に対して、他機関の紹介・同行支援を行いました。
	③1	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携をしているか。	○		令和5年度より「あすの会（保護者会）」を月1回の頻度で開催しています。
	③2	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情等があった場合、マニュアルに沿って苦情受付・解決担当に報告し、迅速かつ丁寧に対応するよう努めています。職員間では日頃からお子さんや保護者の意見等に耳を傾けるように意識付けを行っています。
	③3	活動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		翌月のスケジュールを画像や紙ベースで配布しています。LINE公式アカウントを活用して、スムーズな連絡体制を構築しています。
	③4	個人情報に十分注意しているか。	○		鍵付きのキャビネットに目隠しをして、保管しています。
	③5	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんや保護者に応じて、伝え方等、工夫しています。
非常時等の対応	③6	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		これまで行事企画・実施はしていませんでした。令和6年度に向けて、まずは利用者のお子さんを対象に行事を企画・実施していきます。
	③7	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○		マニュアルは策定されているが、職員や保護者への周知や理解がまだ十分ではないと思います。今後、職員一人ひとりにマニュアル等をまとめたファイルを配布していく予定です。
	③8	非常災害の発生に備え、定期的に避難、連絡、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		現在は利用者のいない時間帯に通報や避難方法、連携の訓練を実施しています。
	③9	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		令和5年度はオンライン研修（動画視聴）や内部研修を中心に研修を行いました。
	④0	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行う場合は、指針に沿って組織的に決定し、お子さんや保護者に丁寧に説明した上で実施することを職員の共通認識としています。対象児童がいる場合、関係機関及び職員間で協議した上で決定し、個別支援計画に記載する体制があります。
	④1	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はありませんが、今後施設行事等で飲食を伴う場合は、十分にアレルギーの確認をしています。
	④2	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	○		危険な事例等があった場合は、記録に残し、職員間で共有するようにしています。